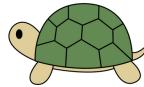


かめい通信



2026年
1月号

在宅診療所と認知症専門外来で嚥下を診ている歯科医師が、
嚥下障害・在宅医療・認知症に関する情報をお届けしています

Pickup! 嚥下機能は年々変化！？

新年あけましておめでとうございます！
みなさんはお餅を食べましたか？
毎年この時期に、「餅をのどに詰まらせて救急搬送」という話によく聞きます。

「去年は大丈夫だったから」と油断していたら、今年は喉に詰まりそうになった、そんなことも起こります。

加齢とともに、病気とともに、飲み込みの機能も緩やかに（時には急激に）悪くなることがあります。
特にレバー小体型認知症やパーキンソン病など、嚥下が悪くなる病気の方は注意が必要です。

口腔ケアや歯の治療で口の中を整え、飲み込みの検査も時々しておくと安心ですね。



嚥下障害のサインかも？

- むせる
- やせてきた
- 声がガラガラする
- 食べるのが遅くなった

発行者：亀井倫子（歯科医師）



東郷医院・のぞみメモリークリニック所属

三鷹市の東郷医院で訪問歯科をしています。
ご自宅や施設で口腔ケア・歯科治療・嚥下検査をしています。
また、のぞみメモリークリニック（認知症専門外来）にて外来で嚥下評価をしています。
嚥下と脳の機能は密接に関わっており、脳のMRI検査と同時に嚥下検査をすることで患者様の病態を正確に把握できます。
要介護の方・難病の方・認知症の方・障がいのある方などの歯科と嚥下を日々診ています。

【経歴】

広島大学歯学部卒
大阪大学大学院歯学研究科博士課程在籍
(社会人大学院生)
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士
日本栄養治療学会 認定歯科医
日本老年歯科医学会 会員
DHP嚥下研修 初級・中級・嚥下内視鏡マスター
コース修了

Good to know! 早期診断・早期絶望...にしないためのピアサポート

認知症の診断がついたとき、大きなショックを受けられる方は多いです。他の病気であれば、「早期診断・早期治療」で改善できることも多いですが、認知症は治すことが出来ないため、「早期絶望」となってしまうこともあります。

のぞみメモリークリニックでは、認知症の診断について間もない方に、「ピアサポート」を無料で提供しています。

「ピアサポート」の「ピア」は「対等」「仲間」という意味です。

認知症と診断され、不安に押しつぶされそうになっているときに、同じ立場である認知症の当事者の方と話すことにより、不安な気持ちが少しでも和らぐように、生活の工夫のヒントを得て前向きに生きられるように、サポートしています。

のぞみを受診している方も、していない方も、参加できます。

右のチラシは鈴木敏明さんの回のご案内です。

直近では1/21(水) 2/4(水) 3/18(水)の予定ですが、他にもピアセンターの方がいらっしゃるので別日もご案内出来ます。

ご興味のある方はぜひご相談ください。



MRIなど認知症検査・外来での嚥下検査の
お申し込みは「のぞみメモリークリニック」へ



のぞみメモリークリニック
脳MRI検査・嚥下外来
0422-70-3880



東郷医院：訪問歯科

080-4326-8264

tougoiin.dental@gmail.com